



JAC北九だより

No. 108 (令和7年 第3号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行：公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 竹本 正幸
 事務局：北九州市小倉南区志徳 1-1-29-104
 清家 幸三方
 TEL 自宅 093-963-2160
 携帯 090-8664-4411
 編集人：橋川 潤
 印刷：山口県山口市水の上町 2-25
 内藤 製本所

令和7年5月10日(土)～12日(月)月例山行
 ～四国遠征・岩稜と花の赤石山系を楽しむ～

コースタイム

5月10日(土)曇りのち晴れ

肉漕二ツ岳登山口 6:15→峨蔵越 8:15/8:20→鯛の頭 9:05→二ツ岳山頂 9:20/9:50 (昼食後下山)
 →鯛の頭 10:50/11:33→峨蔵越 12:10/12:19→二ツ岳登山口下山 13:40

【所要時間7時間25分】※下山後 別子山ふるさと館、エクロジャイト記念碑見学 約1時間半

5月11日(日)晴れのち小雨

筏津登山口 5:33→ヤマシャクヤク群生地(分岐) 6:40/6:50→小休止 7:40/7:50→旧赤石小屋
 9:13/9:23 →石室越 9:46/9:49→八巻山(昼食) 11:07/11:30→東赤石山山頂 12:00/12:12→
 筏津登山口下山 15:45 【所要時間10時間12分】

5月12日(月)曇りのち晴れ

大座礼登山口 6:10→井野川越 7:23→大座礼山山頂 8:15/8:25→大田尾越下山 9:15

【所要時間3時間05分】

参加者10人：竹本正幸 竹本加代子 縄手修 町元里香 清家幸三 藤原玲子 太郎良義親
 橋川潤(CL) 大山時彦 安藤匡(SL)

<植生豊かで花が豊富な四国の山々> 14852 竹本 正幸

若い頃は、四国の山に全く興味がなかった。四国と言えば石鎚山と剣山しか知らなかったが最近よく登るようになり、植生豊かで花が豊富なことで感動している。

ヤマシャクヤクやミツバツツジ、アケボノツツジの花が見ごろで花に癒される至福の時を過ごすことができた。大座礼山は枯れたブナの大木が多く、通常は青々としたブナ林をよく目にするが、初めての景観であった。楽しい三日間ありがとうございました。

<ワクワクの岩と花の楽しい山旅> 14853 竹本 加代子

心配された天気も「なんのこれしき！」ではあったが、やはり山は晴れているほうが楽しい。2日目の雨のテントは厄介でテントからの出入りは雨と砂や土を持ち込んでしまう。テント撤収も雨の後は大変だ。マイテントも出番がなく寂しい思

いだったのではと思えばそれはそれでよし！ 過ぎてしまえばである。3日目は雨もあがり、初めての山「大座礼山」は立ち枯れのブナの大木に目を奪われた。初日の二ツ岳からはエビラ山、はるか東赤石山へと続く四国の山々の眺望を心に刻んだ。

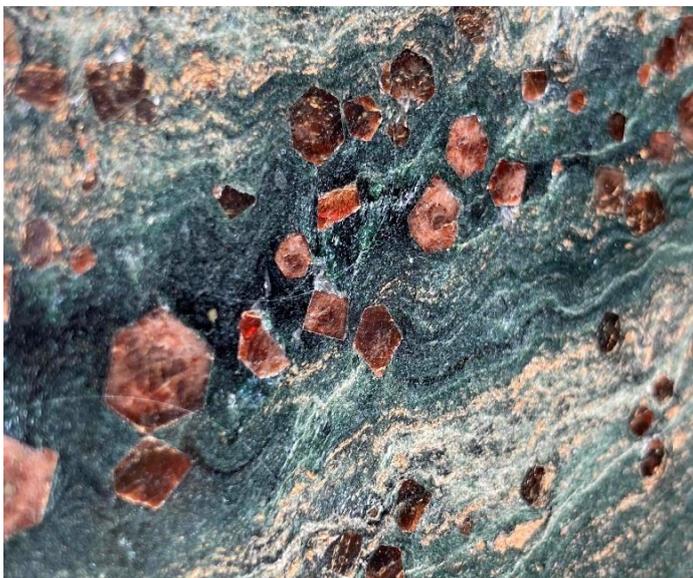


アケボノツツジ咲く二ツ岳山頂 (写真 安藤匡)

この度の山行は花、岩稜、岩石と盛りだくさんの楽しみにあふれていた。アケボノツツジもミツバツツジも満開で山はピンクに染まっていた。石と言えば美しいエクロジャイト。そして赤いカンラン岩がそこかしこに転がり、数年前に見て感動した^{きんていせき}堇泥石は岩石オンチの私でさえ認識でき、ハードな行程以上に楽しい山旅でした。

＜四国の山は何度訪れても素晴らしい＞
15710 町元 里香

四国の山は何度訪れても素晴らしい。同じ景色を目にしてもその時々で違った感動がある。関東の登山仲間に大好きな山域は？と尋ねられると、九州ではなく四国の山々と言ってしまふ。東赤石山系は今回が2回目だが、ミツバツツジに出迎えてもらい、アケボノツツジに癒され、五葉松の原生林には圧倒された。八巻山の岩場では童心に戻ってワクワク。動物の糞が一箇所にはびっくりするほど沢山あったり、大きな動物の骨が登山道にあたりして、何の動物の骨なのかとみんなで推理した。珍しいエクロジャイトやカンラン岩など教えてもらったが、もっと地学の勉強をしておくべきだったと反省した。ミソサザイ、サンショウクイ、ジュウイチなど鳥の名前を教えてもらい、その声に癒されながら歩いたが、なかなか鳥の声と名前が一致しない。自宅で野鳥の鳴き声を復習することが必要だと痛感した。色々なことを考えさせられた山行だったが、どっぷり自然のなかに浸かってしまった幸せ過ぎる3日間だった。有難うございました。



「国際エクロジャイト学会記念碑」のエクロジャイト拡大写真
赤色の柘榴石と緑色の輝石が美しい (写真 橋川潤)

＜岩稜歩きを満喫した東赤石山＞
16601 藤原 玲子

石鎚山系から延びる赤石山系は、花の百名山とも呼ばれ、5月のアケボノツツジは山をピンクに染めると聞き、行きたい山の一つでした。

1日目の二ツ岳は、アケボノツツジが綺麗でした。きつくてエビラ山までの往復はできませんでしたが、下山時に岩が突き出た「鯛の頭」に登れて嬉しかったです。

2日目の東赤石山は、瀬場谷分岐近くで、可愛いヤマシャクヤクの群生に元気を貰い、赤石小屋に着くと、八巻山の岩峰が視界に飛び込み、改めて荒々しい岩稜尾根に力が入ります。進んで行くと、カンラン岩の岩肌に白い花模様(ハナゴケ?)が・・・白いペンキに花丸の模様を書いた様で、それがすごく可愛く見えてどうして八巻山だけにあるのかが不思議です。それと、美しい紫色の堇泥石も見る事が出来、荒々しい岩場も楽しく登れました。

3日目の大座礼山頂付近では、ブナの大木の立ち枯れが目立ちましたが、アケボノツツジ、ミツバツツジが山に色を添えて綺麗でした。

赤石山系は、花で楽しめる山だと思っていましたが、堇泥石、石英、雲母、別子エクロジャイト等、岩石も楽しめる山だと知りました。

橋川リーダーには高山植物、野鳥、岩石の名前等、色々と説明して頂き、とても充実した楽しい山行でした。ありがとうございました。



大座礼山 (写真 藤原玲子)

＜四国遠征のワクワクと食事面が不安なテント泊＞
16602 太郎良 嘉親

今回、四国遠征ということでワクワク気持ちとテント泊という事で食事面が不安でした。5/9の夜小倉を出発してフェリーで四国に渡り、5/10に登山というのは体力的に少しきついなと想像していましたが、車内やフェリーにて少し睡眠をとったせいか思ったほどではありませんでした。

只、想像以上だったのは四国の山々がキツかったことです。5/10は、ニツ岳でしたが、峨蔵越過ぎてから登りも急峻になりしんどいと感じました。全体的なペースは決して早いものでは無かったし、途中花などを見るために止まるので緩いペースだと言えますが、皆のペースでついていくのがやっとのことで皆との体力差を感じました。良かったのはアケボノツツジやミツバツツジなど花が多く見られて良い時期に登山できたと思います。下山時に鯛の頭に登れたのが面白かったです。

5/11八巻山付近での岩山がワイルドで楽しかったです。花の形の苔とか鉱山跡など初めて見るものでした。この日も花を多く見られました。東赤石山からの下りは長く感じました。キャンプ場に着いた頃から雨が強くなり昨夜と違って個別で夕食を取るようになったのが淋しくて残念でした。2日間お風呂に入れたのは良かったです。

5/12大座礼山からの下山が滑りそうで(時々滑りましたが)、ちょっと辛い下山でした。

＜興味の尽きない愛媛の山々＞

17031 橋川 潤

10日はニツ岳。峨蔵越までは緩やかな峠越しの道。そこからは片理の発達したいくつもの巨大な変成岩を乗り越えて進む。昔「ここからは命がけ」という警察署の看板があったところだ。山頂からの下りに「鯛の頭」の上顎によじ登り360度の景色を楽しんだ。11日は橄欖岩から成る八巻山、東赤石山の縦走。八巻山近くでは紫色の葦泥石の採掘跡地でにわか観察会。みんな興味深々でした。12日は高知、愛媛の県境の大座礼山。深い森林の中を登り大ブナに出会う。

互いに近い山だが異なる山の姿を楽しむことができ、中身の濃い山行だった。



アケボノツツジと鯛の頭 (写真 橋川潤)

＜四国 赤石山系、大座礼山山行 (感想と自己反省)＞ 17126 大山 時彦

今回の5月四国遠征4日間(5/9~5/12)の山行詳細については他の方々が記録、感想報告されていると思いますので、ここでは私の感想と自己反省と致します。

先ず、橋川CL作成の綿密な計画書に本来、この位宿泊登山については内容が必要なのかと学ぶものでした。日々のコースタイムは勿論、個人装備、共同装備、食料計画、予算等と私にとって、一目瞭然の山行案内で直ぐにシュミレーションできました。

計画はバッチリだったのですが自己反省として出発1週間前に体調を崩し、出発の前々日に医者通いと体調面が万全でなかったことが原因で深夜のフェリー(1:00~3:25)で頭痛と早朝の登山口までの車酔いで頭痛、寝不足、車酔いが重なり山を楽しむ余裕がない状況でした。今まで車酔い等したこともなく、何とか皆さんについて行くのが精一杯でした。

装備についても、テントを複数もっているにも関わらず、ポール破損等、事前点検不足で結局持参できず、支部のテントを借用で慣れないテント泊と夜中の風雨で眠れない状況で翌日の登山となり東赤石山等、素敵な山々を楽しむどころか苦痛登山が正直な感想でした。いかに山行事前の健康管理や装備点検の大事さを痛いほど反省した四国遠征でした。

今回の四国、赤石山系は再チャレンジしたい山々とも、今は思っています。

宿泊の「ゆらぎの森キャンプ場」はテント泊と宿舎ロッジもあるので、ロッジ泊もいいなと施設を見ての感想です。



八巻山 (写真 安藤匡)

＜石鎚山・剣山の次に行きたかった東赤石山＞
17443 安藤 匡

東赤石は以前から、石鎚山・剣山の次に行きたい四国の山として残ったままで、橋川さんから頂いたツツジの仲間の資料から、アケボノツツジもインプットされてこの春にも行ってみようかと思っていたところでした。

今回はアケボノツツジに加えて、今春は見逃したと思っていたシャクナゲやヤマシャクヤクにも出会えた。瀬戸内海を見下ろしながらの岩尾根歩き、尚且つお風呂にも入れるテント泊と、盛りだくさんで記憶に残る春山山行になりました。橋川さん、町元さん有難うございました。

令和7年3月29日(土) 月例山行
～古道を歩こう～

＜その昔 修験者が英彦山を目指して歩いた秋の峰入り道＞
15616 奥田 スマ子

コースタイム

鱒淵ダム駐車場 7:30 出発→福智山登山口 8:00→ホッテ谷別れ 8:40→鈴ヶ岩屋分岐 10:00→福智山山頂 10:20/10:30→赤牟田ノ辻 11:50/12:15→焼立山→金満山→新城分岐→茶臼岳 14:20→旧金辺トンネル(茶臼岳登山口) 14:45→島村志津摩の碑→金辺観音堂→(車で移動)→鱒淵ダム駐車場着・解散 15:30

今回歩いた古道は三年前 120周年記念事業・古道調査の折に歩いた道の一部で、福智山から香春町採銅所へと続くコース。今日は歴史の重みを改めて感じながら歩きたいと思う。

集合は鱒淵ダムサイト午前7時20分。家から近い私が一番乗りだろうと思っていたら、ほとんどの人がすでに到着。その後、下山口に車を置きに行ったメンバー3人も集まり、予定の時刻に出発した。ダム周辺の桜は満開。登山道にはミツマ



ミツマタが満開 (写真 折野道法)



福智山山頂 (写真 折野道法)

タ、椿、サツマイナモリの花々が咲いてきれいでした。九州自然歩道の緩やかな登り。木々はようやく芽吹き始めたばかりで林床まで陽が差し込んで明るい。春の陽ざしの中福智山頂直下まで登って来た時「アレですか？」の声に指さ



両貝権現(写真 折野道法)

す方を見ると、遠く赤牟田ノ辻へと伸びる「念仏坂」が見えた。念仏坂は今日のコースで一番の難所かもしれません。念仏坂をしばらく眺めてから福智山山頂へ向かいました。山頂で小休憩後、南へと歩を進める。ここからがかつて修験者が歩いた道になる。アップダウンを繰り返しながら一步一步。脚を踏ん張りキツイ念仏坂も登った。登ったピークからは歩いてきた福智山が遠くの方に見えていました。

赤牟田ノ辻山頂で昼食後、焼立山から金満尾根を下る。これから進む金満尾根コースには修験道



金満山山頂 (写真 折野道法)

の要素が色濃く残っています。両界宿跡(山伏の行場)、両貝権現、修験窟。修験窟には修行の木札なども観られた。峰入り修行は厳しく過酷を極め、途中で倒れると行中の死を忌み、「石小積」の作法により埋葬されたとも伝えられています。まさに生死を賭けた修行の道をいま私たちは楽しく歩いている。時の流れに不思議な感じがします。

そして、14:45分予定より早く下山口の旧金辺トンネルに到着。おまけに島村志津摩の碑、金

参加者9人：竹本正幸(SL) 竹本加代子(CL)
折野道法 大山時彦 久保正志

辺観音堂に立ち寄り、3台の車に分乗して鱒淵ダムサイトへ戻り解散となりました。

キツイけど楽しかった古道歩き。悠久の時を超えて私たちに響くものがあるのではないだろうか。またこのような山行を是非期待したいと思います。参加された皆さまお疲れさまでした。

奥田スマ子 中畑智子 横山秀司 藤原玲子

令和7年4月13日(日) 月例山行 <裏英彦山ロング周回コース>

～ 2024 高校総体南岳コースに挑戦 ～

17513 大谷 陽子

コースタイム：英彦山青年の家 8:37→高住神社 8:52→薬師峠(裏英彦山登山口) 9:10→北岳分岐→ケルンの谷→南岳 11:07(昼食)→材木石→大南神社 12:52→奉幣殿 14:02→野営場駐車場 14:42→青年の家 15:02

昨年の全国高校総体では、北九州支部から数名の方がスタッフとして参加したそうで、その時のスタッフ T シャツを着て来られました。まだ会員歴の浅い私はこのような動員もあるのかと活動の幅広さに驚きと誇りを感じました。



インターハイユニフォームは後ろ向き(写真 安藤匡)

さて今回初めての山行報告です。この日は全国的に強風で4月とはいえ凍える風に震えながら青年の家をスタート。コース前半は薬師峠からのバリエーションルートで、アップダウン多めの道を浮石や木の根に注意して歩きます。コースには古いナンバープレートが木に付けられていて、数字を追いつながらどんどん登って行くと最後は99番で終了…のはずが、なんと幻の100番登場! CL

大山さんのセンス光る手作りプレート、わざわざ事前に取り付けてくださり、素敵なサプライズに歓声があがりました。これから裏英彦山を歩く方は100番をお楽しみに。

やがて一行は南岳山頂に着き強風を避けて昼食。目前に見える中岳上宮はまだ工事中のよう、待ち遠しいですね。

後半は、材木石や大南神社など見どころが続く人気のコース。日本三大修験道の山だけに、苦行の跡が伺える修験窟やひっそり残る山伏塚(途中で倒れ動けない山伏を生きのまま埋葬した)の存在を初めて知り胸が痛みました。

山伏達はどんな思いで命懸けの心身鍛練を積み、ついには自然と一体になれるのだろうか…。何度も登った山なのに、これほど厳粛な



英彦山岩場(写真 大山時彦)

歴史の重みを感じたことはありませんでした。

奉幣殿に着き最後の休憩。立派な芳名塔に刻まれた寄付額に感心していたら、寄進札の中に「山岳会北九州支部」の名前を見つけまた歓声！ 新入会員として名に恥じぬ行動をしなくては…と日々のケチな行いを反省する私でした。

大人数での登山はおそらく数十年ぶりで最初は緊張感みでしたが、歴史に詳しい方、お花に詳しく

い方、写真が好きな方、差入れしてくださる方、ダジャレの得意な方…など、山がとにかく大好きな方々と一緒に汗を流し、感動を共有できたことは刺激的であり大きな収穫です。次の山行も楽しみにになりました。CL 大山さんをはじめメンバーの皆さん、有意義な一日をありがとうございました。

参加者 13 人：大山時彦(CL) 竹本正幸 竹本加代子 縄手修 町元里香 清家幸三 中畑智子
藤原玲子 太郎良嘉親 安藤匡 安倍功 片手すみ子 大谷陽子

風師山清掃登山 令和7年5月13日(火)

目的 5月16日計画のさいわい幼稚園児のハイキングが安全に出来るように登山路の清掃、整備
場所 風師山駐車場から風頭までの登山道とトイレ
時間 9時00分～12時00分
参加者 5人：丹下洽、丹下香代子、清家幸三、竹本正幸、縄手修
内容 ゴロゴロした石ころや落ち葉を道端に寄せる
トイレの清掃、張り出した木の枝を切り取る

令和7年5月16日(金)さいわい幼稚園ハイキングサポート

～風頭目指して頑張って歩いたね！～

14853 竹本 加代子

コロナ渦後、さいわい幼稚園のハイキングが再開され、昨年に続き2度目である。前日に雨が降り、心配されたが幼稚園の先生が早朝に登山道を偵察され実施のサインがでる。

北九州支部から9人がサポートする。9時30分



先生のお話を聞く年長さん
(写真 竹本加代子)

分に集合して、園児の到着を今か今かと待つ。有志ボランティアの保護者の方が到着し始め、その後赤い帽子の年少さんを乗せたバスも到着する。

出発式ではしっかりと注意事項に耳を傾ける年少さんに感心する。いざ出発です。年少さんには4人がサポートする。風頭への山道を果たして泣かずに歩ける



頑張る年少さん(写真 竹本加代子)

か、転んだりしないかの心配をよそに30分の山道を歩き通した。数日前に歩き易いように石につまづかないようにと支部の有志で登山道を整備したこともあって歩き易かった。



風頭で記念撮影 (写真 竹本加代子)

風頭ではベンチに仲良く座り行き交う関門海峡の船と海を眺めていた。この風景を心の中のすみっこに留めてこの日のことを思い出して欲しいな～と願わずにはいられなかった。下山はリラックスムードでカタツムリやミミズを見つけて手に取って戯れていた。

年長さんには5人がサポートする。下山時に年長さんとすれ違ったがさすが歩きがしっかりしていた。橋川会員は捕虫網を準備されていた。チョウチョウが捕獲出来たら年長さんはきっと喜んだだろうなあと思った。「隊長! 隊長!」と親しげに呼ばれたりして和んだと他のサポートメンバーからの報告があった。

怪我もなく安全に下山できたことが何よりも、反対に園児から元気をももらったことは言うまでもなかった。昼食のために移動のバスを見送りボランティアは終了となる。

サポート参加者9人：丹下洽 丹下香代子 竹本正幸
竹本加代子 縄手修 清家幸三 横山秀司 橋川潤
久保正志

令和7年5月18日(日)～ 第1回登山塾 ～

場 所 北九州支部ルーム

時 間 8時30分～11時30分

参加者(3人) 尾崎公昭 竹本正幸 竹本加代子

内 容

机上講習で登山全般にかかわることを広く浅く説明した。

各ジャンルについては今後の登山塾で具体的に実施する。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1 日本山岳会について | 5 楽な歩き方(登り、下り、トラバース、鎖場、ピッチと休憩) |
| 2 計画書の提出、留守本部について | 6 登山マナーと集団行動 |
| 3 装備、食料、非常食、行動食 | 7 低体温症と熱中症について |
| 4 水はどれくらい持ったらよいか | |

令和7年5月25日(日) 第59回英彦山山開きの神事 ～英彦山神宮奉幣殿にて(登山者の安全祈願祭)～

16382 横山 秀司

令和7年5月25日に夏山シーズンの到来を告げる山開きの神事が、雨天の中、英彦山(1199 ㍊)の中腹にある英彦山神宮奉幣殿で行われました。午前11時、太鼓の音が神事の始まりを告げました。宮司による登山者の安全祈願の祝詞に続いて、地元の観光関係者や警察官など来賓による玉串奉奠が行われました。その後に登山者を代表して日本山岳会北九州支部副支部長が玉串奉奠を行い、奉幣殿の前に参列した登山者とともに柏手を打ちました。神事の終わりに、宮司が法螺貝を吹



英彦山山開き (写真 横山秀司)

いて邪気を除きました。神事の終了後には参列者一人ひとりに添田町観光連盟より山開き記念の手ぬぐいが配られました。また、地元警察はチラシ

を配り、登山者の安全登山、遭難事故防止を呼び掛けました。

参加者2人：横山秀司 榊俊一

令和7年6月7日(土) 森林保全一斉巡視活動
～ 笠置山 425.1 ㍎ ～

14916 赤瀬 榮吉

水辺公園キャンプ場に9時30分集合。キャンプ場駐車場は7月からの営業で閑散としていた。横山さんから「笠置山の自然と歴史」と題した資料を受取り曇り空の下、予定通りスタート。すぐ脇の1級河川八木山川を右岸に渡渉し、川に沿った緩やかな道を上流に向け進みキャンプ場(閉鎖中)先の笠置山登山口に25分ほどで着いた。登りはじめは竹林でやがて杉林となり、木陰の中休憩をはさみ60分ほどで尾根に出た。ここから先は、照葉樹林で山頂直下の急坂を登りきり11時25分笠置山に着いた。ここで昼食タイムとした。山頂には笠木城址案内板や祠があり平坦な広場で、東側が開けた先に福智山、英彦山が曇り空で霞んで望めた。

12時過ぎ下山開始、照葉樹林～檜林～竹林の中を下り13時過ぎ民家の前を抜け千石登山口の県道に出た。ここから、20分ほどで車道を歩きゴールし、13時40分解散した。参加者の皆様、約4時間の巡視活動お疲れさまでした。

また、横山さんの資料の一部を紹介すると、笠置山一帯で産出される小豆色した輝緑凝灰岩は石包丁の原石地の採集地であったことや、千石峡で恐竜の歯の化石が発見され中で日本最大で発見者の名にちなんだ「ワキノサトウリユウ」などを



笠置山山頂 (写真 太郎良義親)

り勉強になりました。横山さん資料提供ありがとうございます。

巡視結果は、登山道は「笠置山山道」の標識が要所に立てられ、登山道も荒れたところもなく良好でした。



笠置山の輝緑凝灰岩 (写真 橋川潤)

参加者7人：巡視員：竹本正幸、榊俊一、横山秀司(SL)、橋川潤、赤瀬榮吉(CL)
巡視員外：竹本加代子、太郎良嘉親

令和7年6月15日(日) 月例山行
～ 筋ヶ岳 (1004 ㍎) 弟見山 (1085 ㍎) ササユリ観賞～
15318 縄田 正芳

コースタイム：屋敷川登山口(屋敷林道コース) 8:20→筋ヶ岳 10:00→弟見山 12:00(昼食)→登山口 14:40

6月8日の梅雨入り宣言あとずっと雨続きで山行ができるのかやきもきさせる天候でしたが前日頃よりどうにか天候も回復に向かいほっとしまし

た。当日は梅雨の晴れ間とは言えるほどの天気ではありませんでした。午前中は薄っすらとガスがかかるくらい、昼頃には陽も差すようになりました。

6時過ぎに小倉を出発後、山口湯田PAを経て屋敷川の登山口へは8時過ぎに着きました。登山口より筋ヶ岳への道はこのところの長雨でぐっしょりと濡れており笹の葉や木の枝をかき分けての登りは滑りやすく苦労しました。山道の周りには薄い青色の小さな花をつけたコアジサイの群落がいくつもあり、暑さと汗のきつい登りを慰めてくれました。コアジサイの花にはガクは全くなく小さな花のみで九州では見られない種のアジサイだと言うことです。

しばらく進むと尾根道に出てここより筋ヶ岳まではまだ少しガスにかすむ道でしたが、このあたりでようやく今日の目的のササユリを見ることができました。まだ少し花には早く蕾の状態でしたが清楚な姿を見せてくれました。

筋ヶ岳山頂に着く頃には天気も随分と良くなり周辺の山々も展望することもできました。また頂上付近にはいく輪ものササユリも咲いており、観賞をしたり写真を撮ったりとゆったりとした時間を過ごすことができました。



筋ヶ岳山頂 (写真 太郎良義親)

筋ヶ岳より弟見山への山口島根県境の縦走路は大きな登り下りもなくブナやミズナラなどの原生林に囲まれ、また道の脇にはところどころでササユリも見ることができる快適な道でした。また弟見山山頂手前あたりにはすでに花も葉もなくして果実のみを残した多くのカタクリを見ることができました。ここはカタクリロード呼ばれており、早春の花のころは大変美しいところだと言うことです。その時期には是非行ってみたいものです。山頂には12時着。木々に囲まれて展望は利きま

せんが明るい頂で、ここでゆっくり昼食をとったあと下山を始めました。

登山口の駐車場への道は尾根の途中の分岐より屋敷林道コースを下るのですが、ここからが大変な急坂で加えて雨の影響で濡れているため滑らぬように張ってあるロープや枝につかまりながら慎重に



筋ヶ岳のササユリ (写真 竹本加代子)

下って行きました。しばらくすると今は使われていない古い林道に。ここよりは少し荒れてはいますが等高線に沿った平坦な道となり、両側に生えているいろいろな植物を観察しながらのんびりと駐車場へ下って行きました。

梅雨時期の貴重な合間を有効に生かすことができた山行でした。また久しぶりの月例山行参加でしたが、無事メンバーの皆さんに付いて歩くことができほっとしました。ありがとうございました。



弟見山山頂にて (写真 太郎良義親)

参加者7人：竹本正幸 竹本加代子 縄田正芳 横山秀司 太郎良義親 (SL) 橋川潤 (CL) 久保正志

令和7年6月28日(土)～29日(日) 夏山フェスタ in 福岡
会場運営の支援と支部への入会案内 16382 横山 秀司

恒例行事となった「夏山フェスタ in 福岡 2025」が6月28日(土)と29日(日)に電気ビル共創館で開催された。毎年、北九州支部は会場の整理など会場運営の支援を行っており、2日間で述べ13人の会員が参加した。土曜日は会場の一つのブースが「登山相談コーナー」として設けられたので、ブースの壁に日本山岳会の旗を掲げ、テーブルには支部の旗をおいて、北九州支部の「入会のご案内」リーフレットと2025年度の山行計画一覧を用いて、日本山岳会と入会の説明を行った。何人かは、支部の山行に参加したいなど興味をもたれた方もいたので、支部のホームページで情報を得るように助言をした。夏山フェスタへの参加は、日本山岳会と支部のPRや支部会員を増やすために有意義であった。



登山相談コーナー (写真 横山秀司)

令和7年7月5日(土)～6日(日) 月例山行

～ 夏山登山に向けての訓練登山 ～

15710 町元 里香

コースタイム

牧ノ戸 6:25→展望台 6:35→沓掛山 6:47→星生山 8:10→久住分かれ(避難小屋) 8:45/9:03→法華院山荘(昼食) 10:30/11:00→三俣山南峰登り口 11:13→三俣山南峰 12:55/13:05→三俣山本峰 13:20→三俣山西峰 13:45→諏蛾守越 14:10→大曲 15:00

7月の月例山行は夏山登山のための訓練山行に変更になった。6月末に梅雨は明けたが、連日30度以上の真夏日が続いたため、なかなか登山ができない状況だった。8時間以上の山歩きをするには九重で訓練するしかない。しかし最近の状況では、標高1,000m以上でも昼間の気温は30度近くになるかもしれない。熱中症が一番心配だった。8時間以上で、岩場や辛い登り、その後の下り練習もできるルートを選ぶ事。朝の早い時間から歩き始める事。エスケープルートがあり、途中で水分や食事がとれる事。を考えて計画した。

登山口近くのキャンプ場で前泊して早朝の涼しい時間に出発し、星生山の山頂、法華院温泉と楽しく歩けた。皆、法華院のカレーライスを目指して頑張って足を進めたので、法華院には予定どおり10時半に到着した。早速カレーを注文しようとしたがランチは11時からだった。ごめんなさい。確認不足でした。

次の三俣山南峰を目指すためには11時には出発しないとイケない。皆のテンションを下げってしまった。売店で飲み物、カップラーメンを購入し昼

食を摂った。さあ、本日の難関の三俣山南峰直登コースへ出発。約2時間の登りだが、途中には岩



三俣山南峰 (写真 宮本真希)



星生山(写真 町元里香)

場があったりして、心地よい風で涼みながら、坊がつるや大船山を眺めつつ登るこのルートが私は大好きだ。それにしても気温が高すぎる。暑過ぎたため、熱中症に注意しながら、標高100㍎登る毎に水分補給の休憩をとって進む。南峰に登頂した時には皆の疲れた顔も満面の笑顔に変わり、ハイタッチ。私はこの瞬間がたまらない。

午後3時前に大曲駐車場に到着し、牧ノ戸峠駐車場に移動できた。シャーシー牛乳ソフトクリームとノンアルビール(私だけ)で乾杯。今回も無事に楽しい山行ができました。本当に皆さん有難うございました。帰りに昨日も寄った釜ノ口温泉で疲れた体を休め、帰路に着いた。

参加者8人：竹本正幸 竹本加代子 縄手修(SL)
町元里香(CL) 藤原玲子 大山時彦 安藤匡
宮本真希



アキアカネ(写真 橋川潤)

令和7年7月19日(土) ポレポレ山行

～ 昔日の清流は・・・ ～

14264 丹下 洽

一目八景の手前を鳴良(しぎら)温泉へ左折し、標識に従って走ると岳切渓谷に到着(入送料200円)沢歩きに適した履物で入渓する。

温暖化と少雨で、沢の水はぬるく、少し濁っていた。赤黒い苔が耶馬溪溶岩の一枚岩を覆っている。昔日の面影はない。夏椿の白い花が川床に散っている。花の時期には美しかったでしょう。大飛の滝(落差27㍎)の落口まで1800㍎の川の中を歩く。滝の落口からは立ち入り禁止となっている。遊歩道を引き返す。

一目八景で昼食。名物の「山かけそば」発祥の店は廃業していた。耶馬溪は美しい滝の多いところです。温暖化が収まり清流が昔日の面影を取り戻したころ、再訪したい。

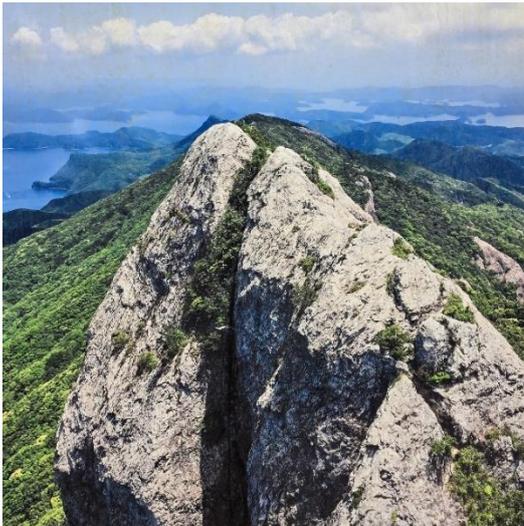


岳切渓谷(写真 丹下香代子)

参加者7人：園川陽造 原広美 丹下洽 丹下香代子 縄田正芳 太郎良嘉親 今田智恵

令和7年5月20日(火) 個人山行
 ～白嶽・城山(対馬) Geo トレッキング～
 16382 横山 秀司

対馬は南北82^{km}、東西18^{km}の細長い山勝ちの島である。中央部は沈降してリアス式海岸となり、浅茅湾を抱く。地質は主に約2000～1500万年前に海底に堆積した海成層(対州層群)よりなり、その後(1500～1300万年前)に貫入した花崗岩類(石英斑岩、デイサイト、花崗岩)からなる。この白い石英斑岩の巨峰をなす白嶽(518^m)の



白嶽山頂(雄岳)から見た雌岳
 (写真 竹本加代子)

の登頂を目指した。私たちは、博多港0:05発の対馬厳原港行きフェリーを利用し、港に到着後はタクシーで洲藻登山口まで行った。朝食後、6:00に

登山の開始。まず、10^mほどの落差のある滝を見ながら歩き始めた。この滝の基盤は地質図によればデイサイトであった。その後は、海成層を刻んだ谷筋を約30分登ると、目の前に大きな1軒家程の巨岩がいくつ

か現れた。これは白嶽をなす石英斑岩であり、白嶽の斜面から崩壊した大きな転石であろう。白嶽神社の鳥居をくぐり、しばらく歩くと白い大きな石英斑岩の岩壁が目の前に飛び込んできた。ここからは、この岩壁に



白嶽山頂風強し
 (写真 竹本加代子)

付けられたロープを頼りに登り、小さな祠の脇を通ると最後の岩場となった。たかだか10^m程の岩場であるが、ロープもハーケンの打ち込みもない。霧雨の中、CLの指示に従って慎重にクライミングをした。狭い頂上では展望もなく、恐怖すら覚えた。記念写真を撮って、早々に下山。指示に従って手の位置と足場を確保して、ようやく、2本足で立てる所まで降りた。その後、岩のテラスに立ち寄りながら、10:40登山口へ下山。予約していたタクシーで城山登山口へ移動した。

城山一帯は、白嶽から続く石英斑岩からなり、その岩山に667年に金田城が築かれた古代山城がある。その一部は日露戦争時に要塞化され、山頂近くまで軍道がつけられた。私たちは、この軍道を要塞跡までトレッキング。砲台跡から数分登った城山山頂では、雨雲が消え、浅茅湾とリアス式海岸の海岸線や小島がよく見渡せた。また、南西に連なる稜線の先には、特徴的な白嶽の姿を目にすることができた。下山は北東方向に進み、古代山城時代に築かれた一ノ城戸、二ノ城戸、三ノ城戸を見学しながら登山口へ向かった。これらの城戸は石英斑岩を使用した朝鮮式の石積みであり、私たちが2月に訪れた大野城跡の百間石垣などの石垣と同じ構造であった。



城山山頂 (写真 太郎良義親)

登山口に予約しておいたタクシーで、宿泊ホテルの東横インに着いた。もちろん、夕食は近くの居酒屋で海の幸とビール、地酒で疲れを癒やしたことは言うまでもない。

参加者5人：竹本正幸(CL) 竹本加代子(SL) 奥田スマ子 横山秀司 太郎良義親

令和7年6月24日(火) 個人山行 ～初めての白神岳～

17031 橋川 潤

コースタイム：駐車場 4:06→二股分岐 4:55/5:00→蟬山(まてやま) 6:32/6:45→大峰分岐 8:30→白神岳 8:48/9:18→大峰分岐 9:50→蟬山 11:20→二股分岐 12:50/12:55→駐車場 13:48

白神岳は白神山地の西端にある1232 ㍍の山。白神山地を横断する青秋林道の建設計画があったのは昭和50年代。当時、低質広葉樹林と言われていたブナ林を伐採し、まだ建築用材として需要が多かったスギなどを植えるという計画であった。そして、林道建設業者や林業・木材業者に金を落とし地元の経済を潤すという目論見であったのだろう。しかし、そのころから自然保護の思想が広く浸透しだし、紆余曲折を経て林道建設は途中で中止になった。今では森林は木材としての経済的価値のみならず、生物多様性や地球環境の保全機能などの価値が重く評価されてきている。そのため、広大なブナの天然林を擁する白神山地は1993年に世界自然遺産に登録された。

このように以前から関心を引き付けていた白神岳だが、同行の妻は二度目、私は初めての登山である。前日午前中に青森空港に着き、レンタカーで広い駐車場と立派な休憩舎がある登山口に到着。翌朝やっと明るくなり始めた中、登山を開始した。

二股分岐まではなだらかで歩きやすい登り道が続く。分岐をまっすぐ進むと谷沿いのルートだが、上級者向けのコースだという。我々高齢者は左手に登る蟬山コースに進んだ。蟬山までは450 ㍍の標高差だが道は整備されており、水が流れる小谷をいくつか越えていくいい道だ。また、途中からはブナ、ウダイカンバ等の広葉樹やヒノキアスナロ(青森ヒバ)の太く立派な天然生林の中を歩くようになる。

蟬山に到着するとようやく朝日が差しだし、それとともに一齐にエゾハルゼミの大合唱が始まった。そこで、後から登ってきた男性と話をする。彼は約20 ㍍の荷物を担いで安達太良山を出発し、吾妻山、鳥海山等を経由しここまで全て歩いて来



白神岳山頂から見た避難小屋と岩木山 (写真 橋川潤)

たという。この後、岩木山、八幡平等に歩いて向かうそうだ。そのすごい彼に九州の祖母傾大崩の山々を紹介しておいた。

さて、ここからなだらかな尾根道がだらだらと続く。標高1000 ㍍を越えると樹木の丈が低くなり見晴らしの良い草地を登るようになる。足元にチシマフウロやゴゼンタチバナなどの花々が顔を出し、疲れを忘れさせてくれた。

大峰分岐に着くと山頂まではあと少し。この尾根道から東側は自然遺産の核心部だ。今まで歩いてきた以上の手つかずのブナ林があるという。その山々の先に明日上る予定の岩木山がくっきりと認められた。白神岳山頂部は南北になだらかな形状となっており、トイシ棟、避難小屋がありその先の南端に山頂三角点があった。

小屋前のベンチでブクを追い払いながら20分ほど休憩し山頂を後にした。大峰分岐からは日本海を見ながらしばらくの下り。天気も良く、ニッコウキスゲやイブキトラノオの花が点々と草地から頭を出していた。

アカショウビンの声を聴きながら登山口には14時前に到着。行きも帰りもゆっくりと周囲の生き物を見聞きしながらの満足の山旅でした。



もう少しで白神岳山頂 (写真 橋川潤)

山行・行事のお知らせ

—11月—

●一般募集登山

山の日記念登山(平尾台・貫山)

期 日 11月2日(日)

集 合 平尾台自然観察センター駐車場
8時30分

行 程 8:30 点呼・概要説明、センター見学
9:10 集落を經由→大平山→四方台→貫山(昼食)
→中峠→茶が床→駐車場

※トイレはセンター駐車場と茶が床にあります。

備 考 20名の一般募集登山です。

詳細はホームページに掲載します。

※当日は、支援が必要です。支部会員の皆様には
多くの参加をお願いいたします。

申込み 横山秀司

✉yoko-hideji@ab.auone-net.jp

清家幸三

✉qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp

締切り 10月20日(月)

●宮崎ウエストン祭

期 日 11月3日(月)～4日(火)

日 程

3日 高千穂町三秀台にて記念式典。その後、
九州5支部の懇談会

4日 祖母山記念山行

申込み 大山時彦

✉ooyamagumi717@gmail.com

Tel090-3609-6102

締切り 9月30日(火)

●4支部交流会(広島、山陰、四国、北九州支部)

期 日 11月8日(土)～9日(日)

日 程

8日 くじゅうやまなみキャンプ村ケビン泊

9日 涌蓋山と久住山の2コースに分け山行

申込み 事務局 清家幸三

✉qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp

Tel090-8664-4411

締切り 9月30日

※詳細は決定次第連絡します。

●森林保全巡視活動(後期) 三郡山～砥石山

期 日 11月15日(土)

集 合 昭和の森駐車場 8時00分

行 程 駐車場→三郡山→前砥石山→砥石山→
駐車場 (所要時間6時間半)

※森保全巡視員以外の方も参加できます。

申込み 横山秀司 Tel090-9609-7721

✉yoko-hideji@ab.auone-net.jp

締切り 11月6日(木)

●月例山行 九州オルレ 奥豊後コース 紅葉の岡城址を歩きませんか

期 日 11月30日(日)

集 合 下曾根駅 6時30分(乗り合い可能)

現地集合 大分県豊後大野市朝地駅駐車場
9時40分

行 程 JR朝地駅 10:00 スタート→用作公園→
普光寺→岡城址→城下町竹田の街並み→竹田駅
(4～5時間)

申込み 藤原玲子 Tel090-8837-9138

✉reiko09550321@gmail.com

締切り 11月16日(日)

—12月—

●年次晩餐会

期 日 12月6日(土)～7日(日)

申込み 事務局 清家幸三

✉qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp

Tel090-8664-4411

※その他詳細は決定次第連絡します。

●忘年登山&忘年の集い

期 日 12月13日(土)

・忘年登山は足立山から戸ノ上山縦走

9時00分～15時00分

・忘年の集い コール天にて

17時30分～19時30分

申込み 大山時彦

✉ooyamagumi717@gmail.com

Tel090-3609-6102

※その他詳細は決定次第連絡します。

—1月—

●月例山行 新年登山 雲仙への山旅 ～霧氷を見に行こう～

期 日 1月17日(土)～18日(日)

場 所 雲仙(長崎県)

集 合 下曾根駅 6時30分(乗り合わせて行き
ます)

宿 泊 エコ・パーク論所原(ケビン泊)

Tel0957-65-7056

問合せ申込み 町元里香

✉yunae.runa@gmail.com

締切り 12月21日(日)

※詳しい内容はお気軽にお問い合わせください。

—3月—

●月例山行 雪山を楽しもう～九重山群～

期 日 3月1日(日)

場 所 九重

※積雪の状況で2月初旬に場所を確定します。

集 合 牧ノ戸峠駐車場 9時

(乗り合わせできます)

問合せ申込み 町元里香 ☒yunae.runa@gmail.com

締切り 2月8日(日)

※積雪の状況で内容の変更があることも予想されるため、締め切り日を早めました。

初級登山塾のご案内

●第3回登山塾

～いざという時のツエルト～

期 日 9月28日(日)

場 所 岳滅鬼山

集 合 大権現手前の登山者駐車場 8時30分

行 程 岳滅鬼峠→岳滅鬼山頂→山頂にてツエルト設営(レクチャー)→岳滅鬼峠→駐車場

内 容 ツエルト設営、栄養・水分補給、熱中症・低体温症の対策

装 備 日帰り登山装備、ツエルト(持っている方)

申込み 町元里香 竹本加代子

締切り 9月18日(木)

●第4回登山塾 ～観天望気～

期 日 11月16日(日)

場 所 福智山

集 合 上野登山口駐車場 8時

行 程 白糸の滝→胸突き八丁→福智山山頂にて観天望気→鷹取山→駐車場

装 備 日帰り装備

申込み 清家幸三 竹本正幸

締切り 11月9日(日)

●第5回登山塾

～雪山を体験しよう～

期 日 1月25日(日)

場 所 深入山、恐羅漢山、吉和冠山のいずれか。積雪の状態で決定します。

集 合 文化記念公園 5時00分

申込み 竹本正幸 町元里香

締切り 1月18日(日)

申込み先のメールアドレス、電話番号

竹本正幸 ☒takemoto.masayuki@white.plala.or.jp TEL090-6739-9251

竹本加代子 ☒takemoto.masayuki@white.plala.or.jp TEL090-9253-1260

清家幸三 ☒qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp TEL090-8664-4411

町元里香 ☒yunae.runa@awa.bbq.jp TEL090-9572-6939

— ポレポレ会山行 —

●角島

～ダルマガクを訪ねて～

期 日 11月1日(土)

集 合 下関運動公園 下関野球場 8時30分

行 程 下関運動公園(8:40)→角島(ダルマガク散策、昼食 13:00 弁当要→灯台)角島出発(14:00)→下関運動公園 15:30 解散

申込み 丹下 洽 TEL090-3734-8843

締切り 10月18日(土)

●山口市三社参り

～ニューヨークタイムズ

2024年度行くべき都市第3位～

期 日 令和8年1月11日(日)

集 合 山口県庁駐車場 9時30分

行 程 JR新山口駅新幹線口 9時 足あり 県庁駐車場(9:40)→山口大神宮(西のお伊勢さま)→香山公園→瑠璃光寺(五重塔)

→菜香亭→今八幡宮→古熊神社→市内散策→県

庁駐車場 途中にて会食 14:30 解散

申込み 丹下 洽 TEL090-3734-8843

締切り 12月28日(日)

令和7年度 行事・月例山行計画

※変更になりました(赤字)

月	日	行事・山行	担当	内 容	実施人数
4	13日(日)	月例山行	山行委員会	裏英彦山ロング周回コース	13人
	19日(土)	第26回通常総会・懇親会	支部行事	毎日新聞会館、コール天	23人
	24日(木)~27日(日)	国東半島 山岳古道集中山行	本部行事	両子山までABCの3コース。26日に懇親会	5人
5	9日(金)~12日(月)	月例山行	山行委員会	四国遠征 岩稜と花の赤石山系	10人
	17日(土)	自然環境保全事業	横山	希少植物・ムラサキの監視活動、平尾台	中止
	17日(土)	ポレポレ	縄田	大海山	中止
	18日(日)	第1回登山塾	竹本	オリエンテーション、山行計画書、登山装備、 ルーム	3人
	25日(日)	岩登り	山行委員会	国見岩または陶が岳	中止
6	7日(土)	自然環境保全事業	赤瀬	森林保全巡視活動 笠置山	7人
	15日(日)	月例山行	山行委員会	ササユリの筋ヶ岳、弟見山	7人
	22日(日)	第2回登山塾	竹本	登山アプリと読図の基本、楽な歩き方、平尾台	中止
	28日(土)~29日(日)	夏山フェスタin福岡	支部行事		13人
7	5日(土)~6日(日)	月例山行	山行委員会	夏山訓練(九重を歩こう!)	8人
	19日(土)	ポレポレ	丹下	岳切溪谷他	7人
8	31日(日)	沢登り	山行委員会	※平尾台千仏谷	
9	20日(土)~21日(日)	九州5支部懇	支部行事	熊本支部	
	27日(土)	月例山行	山行委員会	宝満山(窟巡り)	
	28日(日)	ポレポレ	縄田	天山、吉野ヶ里遺跡 バスハイク	
	28日(日)	第3回登山塾	竹本	栄養と水分補給、熱中症、低体温症対策とビバーク、テント設営他	
10	4日(土)	自然環境保全事業	横山	セイタカアワダチソウ除去作業、平尾台	
	11日(土)~12日(日)	月例山行	山行委員会	テント泊、鳥取大山(烏ヶ山、甲ヶ山、矢筈ヶ山)	
	19日(日)	槇有恒碑前祭	支部行事	風師山	
	25日(土)~26日(日)	全国支部懇	本部行事	関西支部	
11	1日(土)	ポレポレ	原	ダルマ菊、角島	
	2日(日)	山の日記念登山	横山	自然学習登山 平尾台	
	3日(月)~4日(火)	宮崎ウェストン祭	支部行事	高千穂町	
	8日(土)~9日(日)	4支部交流会	支部行事	広島・山陰・四国の支部交流会 九重山	
	15日(土)	自然環境保全事業	横山	森林保全巡視活動 三郡山	
	16日(日)	第4回登山塾	竹本	気象遭難をなくすための観天望気、福智山	
	30日(日)	月例山行	山行委員会	※九州オルレ(奥豊後コース)	
12	6日(土)~7日(日)	年次晩餐会	本部行事		
	13日(土)	忘年登山・忘年の集い	支部行事	足立山・戸ノ上山 コール天	
1	11日(日)	ポレポレ	縄田	山口市三社参り	
	17日(土)~18日(日)	月例山行	山行委員会	新年登山、雲仙岳	
	25日(日)	第5回登山塾	竹本	初級雪山登山、深入山又は吉和冠山	
2					
3	※1日(日)	月例山行	山行委員会	※九重	
	7日(土)~8日(日)	第6回登山塾	竹本	テント泊、九重山	
	14日(土)	山の自然学習登山	横山	Geotレッキング 立花山	
	20日(金)	ポレポレ	縄田	ゲンカイツツジ、岩屋神社	
	28日(土)	月例山行	山行委員会	大師山~白滝山周回	

※各行事の担当者の連絡先については事務局の清家幸三までお尋ねください。

メールアドレス qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp 携帯電話 090-8664-4411

第9回山の日記念木版画展 8月4日～8月9日に開催されました。

会場：ギャラリー・カフェ「柳庵」（門司区大里戸ノ上 1-2-23）

主催：日本山岳会北九州支部・版画同好会

ご指導いただいた伊藤久次郎先生が4月2日にお亡くなりになり、木版画展をどうするか同好会会員で検討した結果、今回だけは何とか継続しようとのことで開催されました。

伊藤先生の遺作3点（下の写真の左3点）をお借りして展示。木版画14点、水彩画3点の総数は17点になりました。出品者は8名です。最終日は出品者が「柳庵」に集まり茶話会で締めました。

会場提供の柳庵の皆さまには、大変お世話になりました。

指導者不在の版画同好会も今後はどのようにするか検討中です。



伊藤久次郎氏遺作 左から「暁光英彦山」「宝満山頂から」「阿蘇 押戸石の丘から」「風師山・風頭 槇有恒記念碑」

令和7年度 第1回役員会議事録 総務委員長 大山時彦

日時 令和7年5月8日(木)
18時00分～20時00分

場所 ルーム

出席者 竹本正幸、横山秀司、榊俊一、清家幸三、
橋川潤、町元里香、久保正志、安藤匡、
大山時彦

欠席者 日向祥剛

I 支部長挨拶

令和7年度のスタートにあたり、5月連休は山岳事故が増えている。より一層の安全登山の重要性を認識し、対応していく。

本年度最初の役員会なので各役員の任務分担表を基に具体的に決めて推進していく

II 議題

1 役員構成と業務内容について

資料（役員の任務）により各委員会の設置と各業務内容の確認。会員増の対策は役員全員で担当することを共有。

2 令和7年度事業計画について

(1) 山の日記念登山…計画の概略説明。

(2) 登山塾…計画案の説明。一般募集を図る。月例山行時と同じ500円を徴収する。

(3) 広報活動…ホームページの有効活用とその担当者を明確にする。塚本さんの助手を決めて進む。

(4) 4支部交流会…準備委員会の立ち上げ

3 会員を増やすための施策：昨年度の入会者のきっかけはHPの情報である。一層の充実を図る。

(1) 一般参加の山行

(2) 勧誘PRの具体化：

III 報告・連絡・確認事項

1 会員 現状は本部会員(52人)、支部会員(19人)、会友(3人)

2 5支部交流会 資料配布

3 全国支部懇談会 資料配布

4 さいわい幼稚園ハイキングサポート

6人が参加予定。風頭までの草刈り清掃は3人でハイキング前に行く。

5 国東山岳古道集中山行の報告 5人参加

6 総会で園川さんからの質疑についての提案中止等計画の変更はHPで知らせる。

7 伊藤さんのお別れ会とバンダナの制作版画同好会で検討中。

8 議事録作成者について 総務委員長が担当

9 月例山行を含む行事での配車についてレンタルを取り入れていくことも必要。

IV 次回役員会の日程

令和7年7月10日(木) 19時～ リモート

令和7年度 第2回役員会議事録
総務委員長 大山時彦

日時 令和7年7月10日(木)

19時00分～20時30分

場所 リモート

出席者 竹本正幸、横山秀司、榊俊一、清家幸三、
久保正志、橋川潤、町元里香、安藤匡、
大山時彦

欠席者 日向祥剛

I 支部長挨拶

役員会をルームとリモートと併用して行う説明と本部からの安全登山の心構え解説。

II 議題

1 4支部交流会の状況と今後のスケジュールと
役割分担 事務局よりスケジュール案説明。(1) 山行計画：11月9日(日) 2日目
久住山と涌蓋山のA、B 2コースで
詳細は総務委員会等で検討していく。

(2) 交流会の進め方

宿泊は『くじゅうやまなみキャンプ村』の
ケビンで1泊、5棟を予約済。1日目の懇親会は主食、副食、飲み物類は
北九州支部で用意する。買出し準備等、支部女性陣が主での協力をお
願いしたい。勿論、男性陣も。2日目の朝食、昼食は参加者各自で持参す
る。キャビンで水、お湯等用意可能。2 山の日記念登山についての概要と進め方につ
いて 横山副支部長より案説明

(1) 日時 令和7年11月2日(日)

(2) 集合 平尾台自然観察センター駐車場
8時30分

(3) 参加費 500円。

(4) 募集人数：約20人(30人になるとグル
ープ分けや説明分担が必要となり多過ぎる)(5) 広報活動 毎日新聞や小倉南区報、平尾台
自然観察センター等で広報予定。(6) 役割分担 参加申込方法はホームページ、
保険加入方法等詳細を随時決めていく。

3 会員を増やすための施策

(1) 一般参加の山行：登山のハードルを下げて、
登山を行いたい一般の方が参加しやすい方
向で呼びかけ支部会員を先ず増やしていく。(2) 勧誘PRの具体化：ホームページ、新聞社、
市報等の活用

III 報告・連絡・確認事項

1 会員 現状の本部会員数(52人)、支部会
員数(19人)、友会員数(3)計74人日向さん紹介の西川史明氏を本部へ入会申込
みをする。2 行事・月例山行計画の報告 夏山フェスタ in
福岡ほか、各担当より報告。3 5支部交流会 詳細と参加者の状況：総務委
員会を開催して、詳細を煮詰めていく。4 全国支部懇談会…詳細と参加者の状況：現状
6人参加予定で募集中。5 榎有恒碑前祭の会場について…総務委員会
で詳細検討、本部参加者や式典後の食事会場所
等。6 総務委員会の開催について…第1回目を7月
16日、10時～ ルームにて開催。

7 9月発行の支部便りの原稿は7月末まで。

IV 次回役員会の日程 9月11日

18時よりルームにて

編集後記

三角点の標高が今年4月に改訂された。これまで人手と時間のかかる水準測量により求めていたのが、人工衛星を利用する衛星測位に変更したためだそう。このため、長年にわたる地殻変動や水準測量の誤差があったいくつかの山の標高が変わった。近くでは、脊振山、久住山、市房山などが約1センチ低くなった。これまで、正確な地図の作成や領土の明確化などに重要な役割りを果たしてきた三角点である。最近、その上に足を置いている記念写真をよく見る。先人が苦勞して設置してきた三角点だ。大事にしたい。(J.H.)